

こんなときどうする？

ケース1

夏休みに車で旅行に出かけた。
1時間もしないうちに気持ち悪くなってきた。
頭痛もしてきた。
もしかしたら、これは乗り物酔いかな。



ケース2

体育館の中で朝からバスケットボールの練習があった。
1~2時間練習している最中に体がだるくなって
頭痛もしてきた。
これは軽い熱中症(熱疲労)かも。



ケース3

生まれて初めて飛行機に乗った。
離着陸の時に必ず耳がポン！となって聞こえが
悪くなってしまった。
うまく耳の中の空気が抜けない感じた。



ケース4

昨日はバーベキューをやった。
ずっと食材を焼きながら、暑いのでビールを飲んでいた。
どうも今朝は二日酔いで体がだるい、気持ち悪い。
頭痛がする、ノドがやたら渇く。飲みすぎたかなー。



ケース5

低気圧が近づくと必ず頭痛が起こる。
鎮痛剤を飲んでもちっとも効かない。



対処するのはすべて『五苓散』です！

どのケースも五苓散を飲めば症状が軽くなります。
お湯で飲むと気持ち悪い時は、冷たい水で飲みましょう。
五苓散は日常生活のいろいろな場面で幅広く使える漢方薬です。



熱中症の話

暑熱環境下での運動・訓練時に若年者が発症した場合、これを労作性熱中症といいます。現場で熱中症とそうでないとき、日常生活中に発症した場合に診断に困ることがあります。

熱中症は、
①意識障害、②40℃以上の高体温、③発汗停止の3大症状が有名です。

でも実際の現場では、医療機関到着時に平熱になっていることがあります。高体温を認めないからといって熱中症を否定できるものではありません。

総合的に判断して早急に対処をすべきです。

①水分と塩分補給、②冷却、③安静、
④緊急事態の対応が治療の基本です。
経口摂取が可能であれば点滴にこだわらず
経口補水液(ORS)を飲水させることです。
安全に飲水できない状態では点滴が必要となります。



お知らせ

『ささやかな夏祭り』を開催します！

8月23日(土) 13:30-16:00 (終了)
今年もやります！



小児夜間急病センター当番日

8月1日(金) 19:30-22:30(受付) 岐阜市民病院